

ファッションで生きる

～私の場所で息をする～



藤原 純子

はじめに

私は自分の体型にずっとコンプレックスを持っていました。

昔から小柄で、不思議と小学生・中学生・高校生…いや大人になった今でも私は背の高い仲良しに囲まれています。

コンプレックスであったのは身長だけではなく、中学生の頃から

「人が似合う服が何故か私に似合わない…骨が太いからなのかな？」

「じゃあ、私には何が似合うっ？」

と似合う物をずっと探してきたように思います。

今、私はファッションコンサルタントとして1万3千人ものお客様のコンスルティングをしています。その原点はこの時にあると言っても過言ではありません。

自分のコンプレックスや消すことのできない疑問に目をつぶっていたらきっとこの仕事を
していないでしょう。

だって悩みがないのに、悩みのある人に寄り添う事はできない、というよりわからないか
ら…

人の数だけ悩みも違います。

なぜその服を着ているのか、選んでいるのかわからない…

服には興味ない…

あるいは、興味はあるけど何を選んだらよいかわからない…

ファッション大好き！ だから、よく買うけど、何を着てもピンとこない…

お客様は、それぞれいろいろな悩みを持って相談に来られます。

服に興味ないと言つ人・服なんて何でもイイと言つ人も、実はそうじゃないってことがわかるのです。

この本は、ファッションというよりも私の生き方・考え方について書いてあります。

〃装いは生き方そのもの〃

この本があなたの生き方のヒントになってくれたら幸いです。

